

令和5年度 第1回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月9日（金） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、内山 有香、加茂 里佳、荒谷 朋子、金田 洋之、
佐藤 憲孝、山本 武志、船越 こず恵
- 4 欠席委員 吉田 真譽、白柳 恵美
- 5 オブザーバー 加茂 俊武
- 6 学 校 遠藤 健司（校長）、久保 賢治（教頭）、野栗 絹世（事務職員）、
宮津 宗之（主幹教諭）、鈴木 小百合（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合
- 9 会長の選出及び副会長の指名

委員の互選により山本浜雄委員が会長に選出され、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された山本浜雄委員から、加茂委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加茂委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1） 令和5年度学校運営基本方針について
- （2） 細江中学校いじめ防止基本方針について
- （3） 職場体験について（成果、課題、改善点、今後に向けて等）
- （4） 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の山本浜雄委員から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達成しているため、会議が成立している旨の報告があった。

協議の前に、学校運営協議会規則と前回議事録の確認をした。

（1） 令和5年度学校運営基本方針について

前回の協議会で承認されたが、校長から、令和5年度学校運営基本方針について再度説明があった。子供たちは健やかに育っている、今年度も引き続きこの経営方針を引き継いでいきたいと思うとあった。

（2） 細江中学校いじめ防止基本方針について

教頭から、細江中学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめは分かりづらく、後になって分かることもあると思うが、いじめを把握することは難しいか？（山本浜雄委員）
 - 日頃から子どもたちの人間関係を把握するよう努めている。いろいろな立場で見ているが、気付けないこともあるかもしれない。子どもたちが言いやすい環境づくりをしていくよう努めている。（教頭）
- ・生活アンケートの開封は誰がしているか？（内山委員）
 - 年3回アンケートを行い、担任が開封しているが、管理職も情報を共有している。（教頭）
- ・先生たちが介入しすぎると自己解決の力が培われないのではないかと心配。（佐藤委員）
 - 子どもたちの成長を考えて、どう対処していくかを常に考えている。いじめているつもりがなくても、相手が嫌な気持ちを感じればいじめと認知して両者の意見を聞かなくてはならない。（校長）
- ・先生に紙のアンケートを出すことをネックに感じる子がいるかもしれない。タブレットの方が気楽にできると思う。紙に書くのはちゃんとした行為に感じると思うので、タブレットにして心のハードルを下げるのもいいと思う。（荒谷委員）
- ・無記名とのことだが、回収にポストなどを使うのもいいかもしれない。（船越委員）
- ・いじめがあった時の対処はどうしているか？（金田委員）
 - まず学年で情報の共有をし、管理職に報告。事実関係を確かめて、関係者から話を聞き対処している。週に1回教員全体へ周知し情報を共有する。（教頭）
- ・いじめは起こるものだから、起きたらどう対処するか決めておくといい。いじめの未然防止については書いてあるけれど、いじめが起きたらこういう風にするという対処方法を決めておくことが今後重要だと思う。（佐藤委員）
- ・いじめは先生のせいではなく、親の責任。学校の先生だけに任せるのではなく、先生、子ども、保護者のコミュニケーションが必要だと思う。（山本武志委員）
- ・学校運営協議会でも力になれることがあるといいと思う。（山本浜雄委員）

（3）職場体験について（成果、課題、改善点、今後に向けて等）

宮津主幹教諭から、職場体験について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・受け入れ先のコメントに、事前打ち合わせや履歴書があつて良かったとあるが、先生方が受け入れ先へ直接行ったのか。（内山委員）
 - 委員のみなさんに探していただいた事業所へ、教員から連絡し詳細を打合せた。（主幹教諭）
- ・受け入れが1日だけの場合、2日目は違う事業所へ行くのか。（佐藤委員）
 - 相手の事情に合わせ、2日目は違う事業所へ行くこともある。（主幹教諭）
- ・2日間だと受け入れる側が大変だと思う。その間、仕事が止まってしまう。何をやらせてもいいとのことだが、やってもらう内容を考えるのも大変。受け入れるのは楽しかったが、基本1日にした方が受け入れる側も良いと思う。少人数でやっているところは大変。（佐藤委員）
- ・製造業の方は、受け入れてもいいけれど危険なこともあるから何をやらせたらいいか困った、と言っていた。（山本浜雄委員）
- ・良い思い出を作ってほしいので何かしてあげたいけれど、ずっとついていなくてはならないので、体験が5～6時間になると大変だと思う。（佐藤委員）

- ・子どもたちから、こんな仕事がしたいという意見を出さないのか。（荒谷委員）
→子どもたちの興味とすり合わせて、細江地区にある企業へお願いしている。仕事を実際にしてみ、働いている人の思いを学んでくる体験にしたい。（主幹教諭）
- ・昔は「この仕事をしたいから職場体験をしたい」だったが、今は「仕事をする人の思いを知りたい」のですね。受け入れる側にきちんと伝わっていないと思う。（荒谷委員）
- ・ゴールが全く見えない。ただ子どもたちを受け入れてというだけではなく、こういう体験をしたいという絵が見えるようにしてほしい。受け入れる側と子どもたちの思惑が違う。（佐藤委員）
→職場体験はホソトレの活動の中の1つで、職場体験で学んだことは日頃自分が調べていることの一部になり、職場体験やフィールドワーク、講話などで学んだことをまとめ、最終的にホソフェスで発表する。（主幹教諭）
- ・せっかく子どもたちが来るのだからしっかり答えてあげたい。何が知りたいかを事前に知りたい。（佐藤委員）
- ・職場体験で子どもたちがなにか1つでも感じてほしい。（山本浜雄委員）

（4）夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・以前に、ホソフェスで提案されたラッピングカーが実現し、昨年お披露目をした。まちづくり協議会では、今年も良い提案があれば実現させたい。（山本浜雄委員）
- ・ホソトレとは？（新規委員に向けて説明）
→ふるさとキャリア教育として、細江をしっかり見つめ直す活動。1年生は細江を知り、2年生は職場体験やフィールドワークから地域で働く人の思いや願いを知り、3年生は未来の細江のためにできることを提案する。色々な情報を収集・分析し、まとめ、最終的にホソフェスで発表をするが、今年やと同じ日に3学年で発表できるようになった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ① 年間の行事予定の紹介…スクールカレンダー参照
体育大会（9/13）、合唱コンクール（10/25）、ホソフェス（11/9）
- ② 学校職員の紹介…学校経営書参照
- ③ 学校運営協議会の今年度の目標確認
「校長が示す経営方針の具現化に向け、細江の子ども一人一人の思いを大切にしたい教育活動推進の手助けをする。」
- ④ 次回会議は、11月9日（木）10時から会議室で開催。ホソフェス参観予定。